

Nro
10

アナキズム

特集 新しい労働運動をめざして

中河友一／歴史的労働運動と「労活」

中村隆司／企業内組合主義の批判としての
地域合同労組

奥平邦成／反戦派労働運動から受継ぐもの

江口幹／新しい組織形態としての評議会

戦後アナキズム運動試論

★久保 隆著

吉本隆明、植谷雄高をはじめとする60年以降の思想的営為は、戦後アナキズム運動にとってなんであったか。旧来の《アナキズム》に訣別を告げ、新たな論理を構築せんとする俊英の書き下し評論集。 発売中
▼定価一、二〇〇円

反逆の信條

★秋山 清著

幸徳秋水、大杉栄、古田大次郎、石川三四郎らの思想と行動をたどるとともに、60年代の《直接行動》の理念を凝視し、ニヒリズムとアナキズム、テロリズムとヒューマニズムの問題を論究した大著。
▼定価一〇〇〇円

夢と祈禱師

★鈴木清順著

色彩感覚豊かな映画監督が綴る珠玉のエッセイ集。村木源次郎、中浜哲らの生き様を素材に《哀しみ》の根源に迫る。未発表対談（秋山清・菅孝行）を収録。▼定価一五〇〇円

殲滅・中島貞夫の映画世界

「日本暗殺秘録」において、左右のテロリストの人間像をとらえた中島映画の本質に迫る。中島監督の書き下しエッセイ、インタビューに、未発表シナリオ「殲滅」「ジーンズ・ブルース」を収録。▼定価八五〇円

わが夢二

★秋山 清著

画家であり詩人であった竹久夢一の人気の秘密を解く。▼定価一六〇〇円
（直接当社へお申込みの場合は、送料（各一〇〇円）を加えてご送金下さい）

〒153 東京都目黒区大橋一の一〇四五三 北冬書房
TEL(四六)六二八八 振替東京五一二〇四五三

「パリの暑い夏」を準備した
アナキストたち。

黒いパリ

江口 幹

地下に身を寄せた私は突然、パリ警察に連行された。
秘かに漂う黒い影。亡命中のスペインアナキストの
群像。体験をもとに抱えたパリの隠された貌。1200円

■好評発売中

方位を求めて 江口 幹

混沌とした現代文明の喪ったものを求めて思想の遍歴に旅立つ
主人公は「シャルトル」の闇に一条の光を見い出そうとし
た。「現代人」の行方を模索する長編小説。 950円

大杉栄集

近代日本思想大系／第20巻

編集・解説 大沢正道／社会変革と自我の解放を不可分の
思想的課題として、アナキズムの実践に苦闘を重ねた
革命家の思想の全貌を明らかにする。《収録内容》獄中
記／本能と創造／生の拡充／鎖工場／生の創造／死灰の
中から／労農ロシアの新労働運動／他
1800円

筑摩書房

東京神田小川町2

電話(291)7651

~~~~~

1976年

# 季刊 アナキズム 10号

アナキズム編集委員会

~~~~~

便利さに 未来も捨てる 使い捨て 槌田 劭 2
(使い捨て時代を考える会)

盗 奪 の 視 点 大 門 一 樹 7

〜〜 特集 新しい労働運動をめざして 〜

反帝労働運動と「労活」 中 河 友 12
—社会革命と全的解放をめざす労働者運動のために—

企業内組合主義の批判としての地域合同労組 中 村 隆 司 20
(富士地区労研)

反戦派労働運動から受け継ぐもの 奥 沢 邦 成 24

新しい組織形態としての評議会 江 口 幹 35
—バナークの思想に即して—

潮 流 (75年10月〜12月) 43
活動メモ・機関誌紙・雑誌論文・出版物

論 潮 46

- | | |
|----------------------------|---------|
| 1 物価高の生活危機は世界の危機そのものではないのか | 木 村 宏 |
| 2 図書館裁判闘争の終結と我々 | 早 大 アナ研 |
| 3 三里塚闘争の位置 | 安 田 信 治 |
| 4 労働組合は革命の起爆剤になり得るか | 横 倉 辰 次 |
| 5 書評『虚無思想研究』 | 森 一 蘭 |
| 6 映画評『変奏曲』 | 山 上 春 彦 |

クロンシュタット・イズヴェスチャ 9号 吉原 文明・訳 67

<投稿>東アジア反日武装戦線と非暴力直接行動の立場 笠 田 七 尾 62

読 者 の 声 59

<合評会報告>暴力再考 75

編 集 後 記 77